

## 平成26年度「川崎市環境行政懇談会」

平成27年1月26日(月) / 川崎商工会議所 第4会議室

環境委員会

川崎市より、小林環境局長をはじめ、10名の方々に出席頂き、以下の議題について説明を受け、質疑応答した。

### 「大気環境行政の動向」

- ・2013年度の環境基準等の達成状況は、微小粒子状物質(PM2.5)、光化学オキシダントが、測定地点全局で非達成、浮遊粒子状物質(SPM)が、18局中15局で達成、その他の測定項目は全局で達成となった。

2013年度より開始したPM2.5高濃度予報の発令事例はないが、揮発性有機化合物(VOC)も生成要因であり、これを法・条例により規制する事も、効果のある削減取組みである。

### 「地球温暖化対策等の取組み」

- ・「川崎市地球温暖化対策推進計画」報告書に基づき推進状況詳細の説明、また川崎市の強みと特徴を活かした「川崎市グリーン/バージョン推進方針概要」、更にエネルギーの「大供給地」「大消費地」両面を併せ持つ川崎市としての「川崎市エネルギー取組方針案」が説明された。

### 「廃棄物行政の動向」

- ・PCB廃棄物の処理状況と、処理期間・処分先の変更等の説明、また年間約70トンが排出される

水銀廃棄物を、「特別管理産業廃棄物」に指定する検討が進められている事などが説明された。

一般ごみの焼却量は、H20年度とH25年度比較では5万トン(12%)減少しており、家庭系の分別・減量が進む中、事業系は横ばいであり、事業系の資源化努力が望まれる。

